

副詞モウのアノテーションとそのガイドライン

勘場千夏・藤本悠花・久保山由梨・木下滉晴 (九州大学文学部)

上山あゆみ (九州大学大学院人文科学研究院)

概要

モウという語の用法について、①限界・超過、②接近・到達、③付加、④感情的意味、⑤非難・叱責、⑥緩衝、⑦その他の7つに分け、分類の手順を示すフローチャートを作成した。実際にこのガイドラインに沿って『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)によってアノテーションを試み、カッパ値を計算した結果、0.824となり、ある程度信頼性のあるガイドラインが作成できたと結論づけた。

1. はじめに

モウという語は、『現代日本語書き言葉 均衡コーパス』(BCCWJ)において、時間、数量、程度に関わる副詞として用いられる一方、話し手の感動表出として使用される例もあり、その意味、機能は多義にわたっている。コーパスによる検索の有用性を高めるためには、これらの用法の違いがアノテーションによって適切に区別されていることが望ましい。そのためには、必要に応じて分類のガイドラインを作成することが有用である。本発表では、モウの様々な用法について分類ガイドラインを作成するにあたって、どのような困難な点があったかを明らかにした上で、実際にアノテーションを試み、その結果を述べる。

2. モウの分類

まずここで、提案するガイドラインを示し、それぞれの分類について、代表的な例文と分類上の問題点について述べる。

①	限界・超過	(ア) 超過 程度や時間が一定の限度を超えている様子を表す。 モハヤ・スデニ・イマトナツテハと置き換え可能。
---	-------	--

		(イ) 限界 ある状態をこれ以上維持できない様子や、繰り返し事象の終了限界後である様子を表す。 モウの後に、否定語や、対象事象の終了を示唆するような動詞を伴うことが多い。
②	接近・到達	場所や時間、状況など、ある目標に接近し到達しようとする話者の判断を表す。 マモナク・ヤガテなどと置き換え可能。
③	付加	数詞や程度を表す言葉を修飾する形で用いられ、現在の様子にさらに付け加える様子を表す。
④	感情的意味	感情が溢れ処理できないとき、感動詞的に用いられる。 マサニ・ナントモと置き換えられる。
⑤	非難・叱責	独立して使用され、非難・叱責の感情を表す感動詞として使われる。
⑥	緩衝	語調を整える役割をもつ。 はっきり言うことを躊躇されるときなどに発話される。
⑦	その他	副詞、感動詞的な用法を除いた、モウ。

3. 代表的な例文と問題となりうる点

3.1. 「①限界・超過」について

「①限界・超過」の代表的な例文は、次に示す

通りである。

- (1) 「話し手にとって」もう過ぎ去ったこと—それが「過去」です。
- (2) a. その日の夕方、さいわい牧草小屋をみつけてころがりこんだが、友人はもう歩けなくなっていた。
b. 「乳母よ、あの犬にもうあきらめるよう、よく納得させなさい。」

(1)のように、程度や時間が一定の限度を超えている様子を表し、モハヤ・スデニ・イマトナツテハと置き換え可能なものは「(ア) 超過」に分類される。

一方(2)のように、ある状態をこれ以上維持できない様子や、繰り返し事象の終了限界後である様子を表すものは、「(イ) 限界」の用法にあたる。モウの後に、否定語や、対象事象の終了を示唆するような動詞を伴うことが多い。

飛田・浅田(1994)における、程度や時間が限度を越えた様子を表すモウの用法を踏襲し、これを「(ア) 超過」とした。さらに「(ア) 超過」までは至らないが、話者や対象の状態や事態、心情が変化していると提示するモウを「(イ) 限界」とした。これは池田 (1999) で、述べられていた「繰り返し事象の終了限界以後に発話時があることを示」すモウを取り入れている。

3.2. 「②接近・到達」について

「②接近・到達」の代表的な例文は、次に示す通りである。

- (3) a. もうすぐリヤドを去る人と、リヤドに来たばかりの人が不思議と集まる。
b. あの七わのわかものたちはね、もうじき、ひょう湖へでかけるっていうんだよ。

この用法のモウは、場所や時間、状況など、ある目標に接近し到達しようとする話者の判断を表す。マモナク・ヤガテなどと置き換えることができる。

3.3. 「③付加」について

「③付加」の代表的な例文は、次に示す通りである。

- (4) a. いちばん影響を受けたもので、もう一度読み返そうかな、と思ってるのが坂口安吾さん。
b. 以下これらの点を、もう少し立入って考察してみることにしよう。

この用法のモウは、数詞や程度を表す言葉を修飾する形で用いられ、現在の様子にさらに付け加える様子を表している。

3.4. 「④感情的意味」について

「④感情的意味」の代表的な例文は、次に示す通りである。

- (5) a. かつてのスターでは十代でデビューした当時の磯村みどり、結婚する前ごろの吉永小百合、村松英子など、実にもうキラキラと輝く天女さまみたいでしたな。
b. 今日なら、もうほんたうに立派な雲の峰が、東でむくむく盛りあがり—

この用法は、感情が溢れ処理できないとき、感動詞的に用いられ、マサニ・ナントモと置き換えることができる。

3.5. 「⑤非難・叱責」について

「⑤非難・叱責」の代表的な例文は、次に示す通りである。

- (6) a. 「ああ、もう。早く籍入れればよかった。東京へ帰ったら、すぐ届出しましょう。ね、いいわね」
b. 「もう、アリスったら。いいから食べなさいよ。少しは贅沢だってしなくっちゃ」

この用法のモウは、独立して使用され、非難・叱責の感情を表す感動詞として使われる。

3.6. 「⑥緩衝」について

「⑥緩衝」の代表的な例文は、次に示す通りである。

- (7) a. 顔といわず体といわずもうタテヨコ十文字に、人生の年輪がグシャグシャに刻み込まれている。
- b. 「いつだか、わかるか」「それはもう、記録につけてございますから。一たしか、三日ほど前かと思えます」

この用法のモウは、語調を整える役割をもち、はっきり言うことを躊躇されるときなどに発話される。

3.7. 「⑦その他」について

「⑦その他」の代表的な例文は、次に示す通りである。

- (8) a. 仕切りから覗けば、もうもうたる湯煙の中に、何やら白い物体が見えることは見えるのでありますが、見えても年輪ばかり。
- b. おまけにストーキーまでもが海にとびこんでもうて…

副詞や感動詞的な用法を除いた、モウ。これは私たちの対象としているモウではないが、コーパスの検索結果に表示されたため、私たちの分類するモウと区別するために「その他」として選り分けた。

4. アノテーション結果

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)から、モウを含んだ例文 500 件を抽出し、上記の分類ガイドラインにしたがって、実際にアノテーションを行った。

九州大学文学部の学生 2 人がそれぞれアノテーションを行った。その結果からカッパ値を計算したところ、0.824 となった。アノテータ間でぶれの少ない、ある程度信頼性のあるガイドラインが作成できたことになる。今後、ずれの見られたとこ

ろを中心に、さらに検討を重ねていきたい。

5. 参考文献

池田英喜(1999)「「もう」と「まだ」:状態の移行を前提とする 2 つの副詞」,『阪大日本語研究』,11:19-35

飛田良文・浅田秀子(1994)『現代副詞用法辞典』,東京:東京堂出版.